

委員会報告

口腔衛生関連用語に関する提言

日本口腔衛生学会用語委員会

小関 健由¹⁾ 加藤 一夫²⁾ 佐藤 勉³⁾ 千葉 逸朗⁴⁾

日本口腔衛生学会歯周病委員会

森田 学⁵⁾ 伊藤 博夫⁶⁾ 天野 敦雄⁷⁾ 齋藤 俊行⁸⁾
佐藤 勉³⁾ 廣瀬 公治⁹⁾ 山本 龍生¹⁰⁾ 川崎 弘二¹¹⁾

口腔衛生会誌 65 : 48-49, 2015

第6回 歯周疾患関連用語について

第6回の口腔衛生関連用語に関する提言では、日本口腔衛生学会歯周病委員会とともに、代表的な歯周疾患関連用語について解説を加える。日本歯周病学会では、歯周病学用語集 第2版¹⁾を編纂しており、日本歯周病学会での選択用語も一覧にまとめているので、参考にしていただきたい。

プロービングポケットデプス (歯科医学教授要綱, 歯科衛生士国家試験出題基準, 日本歯科医学会学術用語, 日本歯周病学会編歯周病学用語集)

ポケットプロービング値・プロービング値 (日本歯科医学会学術用語)

ポケットの深さ (日本歯科医学会学術用語), 歯周ポケットの深さ (歯科医学教授要綱)

ポケットデプス (日本歯科医学会学術用語, 日本歯周病学会編歯周病学用語集)

歯周組織検査時には歯周プローブを用いて歯肉溝または歯周ポケットの状態を探索する。歯周プローブを歯肉溝または歯周ポケットに挿入して根尖側の抵抗を感じる位置は、歯周プローブの先端が周囲の炎症の程度によっ

て、歯周ポケット底を突き抜けて結合組織にまで達している場合や、逆に健全な歯周組織の抵抗で歯周ポケット底まで届かない場合もあると考えられる。よって、日本歯周病学会編歯周病学用語集では、組織学的に上皮性付着がなくなる位置を真の組織学的ポケット深さとして「ポケットデプス」と表し、臨床的に歯周プローブで測定される臨床的ポケット深さを「プロービングポケットデプス」と表して区別している。臨床では、組織学的ポケット深さを測ることはできないので、ほとんどの場合はプロービングポケットデプスを表していると考えられる。歯科医学教授要綱, 歯科衛生士国家試験出題基準, 日本歯科医学会学術用語, 日本歯周病学会編歯周病学用語集と多くがプロービングポケットデプスの使用を支持している。

デブリードマン (日本歯科医学会学術用語)・デブライドメント (日本歯周病学会編歯周病学用語集)

歯周ポケット搔爬 (日本歯周病学会編歯周病学用語集)

スケーリング・ルートプレーニング (歯科医学教授要綱, 歯科衛生士国家試験出題基準, 日本歯科医学会学術用語, 日本歯周病学会編歯周病学用語集)

ルートデブライドメント (日本歯周病学会編歯周病学

¹⁾ 東北大学大学院歯学研究科予防歯科学分野
²⁾ 愛知学院大学歯学部口腔衛生学講座
³⁾ 日本歯科大学東京短期大学歯科衛生学
⁴⁾ 北海道医療大学歯学部保健衛生学分野
⁵⁾ 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科予防歯科学分野
⁶⁾ 徳島大学大学院医歯薬学研究部予防歯科学分野
⁷⁾ 大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学分野
⁸⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科口腔保健学
⁹⁾ 奥羽大学歯学部口腔衛生学講座
¹⁰⁾ 神奈川歯科大学大学院歯学研究科社会歯科学講座
¹¹⁾ 大阪歯科大学口腔衛生学講座

用語集)

デブリードマン, またはデブライドメント (debridement) は, メスや鋏などを用いて, 固着した汚染組織, 壊死組織を除去する (日本口腔外科学会編 口腔顎顔面外科学専門用語集) といった医学の一般用語である。歯周治療では, 歯根面から炎症を消退させる目的で, 歯周ポケット内の歯垢・歯石, さらには歯根面の罹患セメント質や内縁上皮等を除去するので, 歯周ポケット周囲のデブリードマンを実施することとなる。歯面上の硬組織付着物を除去するスケリングや, 歯根面の罹患セメント質や微細な汚染物を除去して根面の滑沢化を行うルートプレーニングは, 根面のデブリードマンであるルートデブライドメント (歯周病学用語集) に含まれる。また, 軟組織の内縁上皮や肉芽組織を搔爬するためにキュレタージを行うことを歯周ポケット搔爬 (歯周病学用語集) と表す。デブリードマンの用語は広く多くの操作を包含するので, 歯科臨床では概念的な表現の使用に限られてくると思われる。

口腔清掃 (歯科医学教授要綱, 歯科医師国家試験出題基準, 歯科衛生士国家試験出題基準, 日本歯科医学会学術用語)・歯口清掃 (衛生・公衆衛生学用語集, 日本歯科医学会学術用語)

PTC (歯科医学教授要綱, 日本歯科医学会学術用語)・プロフェッショナルトゥースクリーニング (日本歯周病学会編歯周病学用語集)

PMTC (歯科医学教授要綱)・プロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング (日本歯周病学会編歯周病学用語集)

プロフィラキシス (日本歯科医学会学術用語)

口腔清掃は, セルフケア・プロフェッショナルケ

ア・コミュニティヘルスケアのそれぞれの手法で実施される。特に歯科の専門家による口腔清掃を総称してプロフェッショナルトゥースクリーニング・PTC (Professional Tooth Cleaning) と呼んでいるが, その範囲は明白ではない。バイオフィルムの破壊を目的とした専門的機械的歯面清掃であるプロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニング・PMTC (Professional Mechanical Tooth Cleaning) は, Per Axelsson によって提唱された。トレーニングを受けた歯科専門家が, セルフケアでは清掃が難しい歯面を中心に選択的に, フッ化物を応用しながら機械的に完全に歯垢を除去する手法であり, 歯冠と歯肉縁下 3 mm 程度までを清掃する。これは歯冠研磨と大きく目的が違っている。歯周管理を目的としたプロフェッショナルメカニカルトゥースクリーニングでは, 歯面のバイオフィルムの破壊に注目して, フッ化物の応用が強調されていない場合があるが, 実際に使用する研磨剤はフッ化物が配合されているのが大多数である。

一方, プロフィラキシス (prophylaxis) は, 一般的には予防法の訳語が当てられている (日本歯科医学会学術用語)。オーラルプロフィラキシスは, 歯科疾患の予防のために歯科医師や歯科衛生士が行う専門的歯科予防処置を指し, これには齲蝕に対するものと歯周疾患に対するものがあり, プロフェッショナルトゥースクリーニングもプロフィラキシスの手法の一つである。

なお, 歯口清掃の用語は, 現在は口腔清掃に置き換えが進行していると思われる。

文 献

- 1) 特定非営利活動法人日本歯周病学会編: 歯周病学用語集 第2版, 医歯薬出版株式会社, 東京, 2013.